

# イチゴ農家の減少ストップへ！

## 「いちご塾」研修生の「紅ほっぺ」出荷本格化！

**【取材対応：12月28日(月) AM9:30～】**



JAあいち三河 マスコットキャラクター むのりくん

J Aあいち三河管内である岡崎市と幸田町は昭和20年代から続く歴史ある県内有数のイチゴ産地です。しかし県の調査によると当管内のイチゴ生産者は令和4年には約半数の46名まで減少すると予測されています。そのような課題解決策として行政と協力し岡崎市土井町に「いちご生産拠点研修農場」を新設。年間を通じて新規就農者の育成を目指した「いちご塾」に取り組んでいます。研修生は最長で2年間の研修を経て、イチゴ栽培を学んでいます。昨年は1期生2名が卒業し、今作から新規就農者になりました。現在は2期生5名がイチゴ農家を目指して研修に取り組んでいます。

当農場をメインに学ぶ研修生は、12月から「紅ほっぺ」の出荷をスタート。下旬に入って出荷量も増加しており、日々の管理や収穫、パック詰めと様々な作業をこなしています。

当J Aではイチゴ新規就農者の育成と既存農家へのサポートとして、昨年10月に「いちご新規就農者生産拠点研修農場」、今年9月に「いちご生産団地」を建設しました。**単協（1つの農協）でイチゴ栽培の研修施設や栽培ハウス団地を作り、担い手支援に取り組むのは全国でも珍しく、県内では唯一J Aあいち三河だけの取り組み**です。

### J Aあいち三河イチゴ栽培状況

栽培品種：「紅ほっぺ」、「とちおとめ」  
栽培組織：岡崎市いちご部会、幸田町いちご組合  
栽培面積：約16.6ヘクタール  
部会員数：70名（うち新規就農者2名）  
出荷期間：11月～5月  
販売高：約10.5億円（R1年度作）  
出荷先：県内市場等  
目標金額：11億（約330万パック）  
※両組織合わせての数、「とちおとめ」は幸田町のみ



### 取材対応（内容：研修生による収穫、パック詰め作業等）

日時：12月28日(月) 9:30～

集合場所：J Aあいち三河いちご生産拠点研修農場  
(岡崎市土井町西落48～52番地)

※車でお越しの際は研修農場南側にある当J A産直施設「ふれあいドーム岡崎」を目印にお越しください。お車でお越しの方はふれあいドーム岡崎駐車場をご利用ください。

※ハウス内のため雨天決行です。



▲研修生による収穫（上）とパック詰め（下）

<お問い合わせ> ※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

J Aあいち三河 総合企画室 企画広報課（担当：榊原、岡田）

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、J Aグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。